

杉吉 貢 墨絵師



1958年 北海道由仁町生まれ。

13歳より油絵を始める。

1977年 滝川高校卒業後上京、数多くの展覧会を行う。

1985年 洋画家の上條陽子氏師事、ダンサーをその場で墨絵で描くという新しい表現分野を開拓。

1987年 スペイン放浪の旅。

1989年 北海道（札幌市）に転居。

1992年より山海塾の舞踏家である岩下徹氏とのコラボレーションを開始。

以後、現在に至るまで様々なジャンルのアーティストとのコラボレーションを数多く行っている。

1995年、1996年 モンゴル国へ取材旅行。

1997年 滝川市に転居。

1999年8月 佐渡アースセレブレーションに招待される。

岩下徹氏、鼓童の藤本吉利氏との即興パフォーマンス「自由・交感」を行う。

2001年から現在まで、たきかわ市民ミュージカル、たきかわ市民劇の美術を担当。

2002年2月 岩下徹氏、サウンドクリエイターの畑中正人氏とのライブパフォーマンス「即興」を
新冠町レ・コード館、札幌コンカリーニョで行う。

12月 岩下徹氏、鼓童の金子竜太郎氏とのライブパフォーマンス「SAN」を東京シアターラムで行う。

2008年 滝川市美術自然史館にて「杉吉貢展」開催。

2009年 富良野 GROUP ロングラン公演「屋根」の美術を担当。紗幕に森の絵を描く。

2011年 弦巻楽団#16「テンプレーション」の美術協力、背景画の制作を担当。

2012年9月 札幌・ギャラリー門馬 ANNEXにて「五百羅漢図」発表。

12月～2013年1月まで滝川市美術自然史館の特別企画展「白い森黒い森」の企画協力、美術制作担当。

道内外で個展、ライブを数多く行っている。

墨絵、細密画、水彩画イラストレーション、舞台美術、インスタレーションなど
幅広い表現活動を展開している。

滝川美術協会会員。